

## 2. 海辺の環境ならではのデザインと共用部の充実によって、 過ごしやすく滞在価値の高い施設空間へ

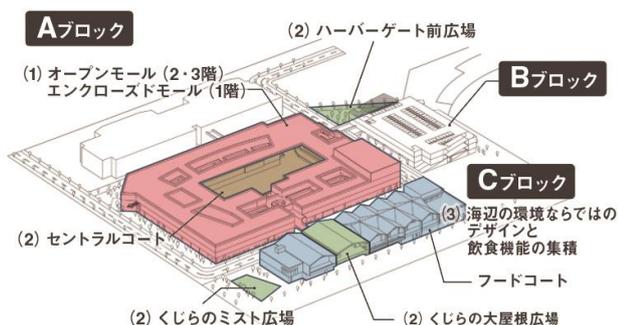
白を基調とした外壁と海を感じさせるネイビーの差し色などによって、マリーナ沿いの環境ならではの賑わいを演出しました。また、木調のナチュラルな素材や潤いのある樹木・芝のデザインを配置し、温かみと居心地の良さを醸成しています。中庭や広場では、出店店舗との連携イベントなどさまざまなプログラムを展開し、訪れるお客さまにリアル施設ならではの価値を提供します。



Aブロック 駅側アーバンゲート



Bブロック ハーバーゲート



Cブロック 海沿いのテラス席

### (1) 開放感と快適性を兼ね備えた新たなハイブリッドモール構成

最大街区となるAブロックでは、サーキット型にモールを配置し、2階には他ブロックとの行き来をスムーズにするブリッジを設置するなど、ショッピングを充実させる回遊性を強化しました。

Aブロック2・3階は、空がひらけマリーナの空気を感じられるオープンモール、1階は季節や天候に左右されない室内型のエンクロードモールとします。異形態のモール空間を同ブロックに配置し、屋外の開放感と屋内の快適性の両方を享受できるショッピング環境を実現します。

また、モール通路には「garage YOKOHAMA (3ページ参照)」のオリジナルプランターを配置し、洗練された感度の高い空間を演出します。



オープンモール (2・3階)



エンクロードモール (1階)

## (2) 中庭・広場でのイベント実施などによるリアル施設価値の最大化

### ◇休む・遊ぶ・観る 2,000 m<sup>2</sup>超のセントラルコート



Aブロック セントラルコート

ショッピングの途中やお帰りに一息つきたいお客さまや、外で遊びたい子どもたちを迎える 2,000 m<sup>2</sup>超の大規模な中庭「セントラルコート」を配置します。大きな栈橋のデザインを中心に、3つのゾーンを形成。コンテナをイメージしたカラフルな外壁によって、マリーナに隣接する施設にふさわしい賑わいの空間を演出します。

**レストゾーン**：心地よい高木の木陰にベンチを配置。テイクアウト商品を楽しむテラス席としてもご利用いただけます。

**賑わいゾーン**：子どもたちが遊べるポップジェット、イベントステージなどを設置。2・3階に設置されるテラスや廊下からも臨めます。



**アクティブゾーン**：人気のボルダリングや人工芝のフリースペースを設置。夏休みや週末には「mont-bell/mont-bell factory outlet」のクライミング教室などを開催予定。

### ◇くじらの大屋根広場

約 600 m<sup>2</sup>の 2 層吹抜の全天候型イベントスペース「くじらの大屋根広場」を配置します。中央には、1998 年開業当初から当施設のシンボルであったくじらのモニュメントの記憶を継承し、大きくくじらをかたどった人工芝の大規模ラグマットを計画しています。



Cブロック くじらの大屋根広場

### ◇ハーバーゲート前広場

車でお越しになるお客さまの来場動線となる「ハーバーゲート前広場」では、出店店舗の体験イベントやクルーザー展示などを実施し、ショッピング以外の体験の充実を図ります。

### ◇くじらのミスト広場

Cブロック横「くじらのミスト広場」では、クルーザーやボートなどの乗船イベントを受付予定です。本計画地ならではのイベント実施により、海洋レクリエーション事業の振興にも寄与します。

### (3) 飲食機能の集積・子育て機能の充実などによる滞在価値の向上

#### ◇海辺の環境ならではのデザインと飲食機能の集積

マリーナに面した C ブロックは、海辺の倉庫をイメージした三角の切妻屋根が連続した外観デザインを採用しています。東側にはフードコート（6 ページ参照）を配置、西側には「BAYSIDE FOOD HALL（8 ページ参照）」が出店するなど飲食機能を集積します。海側の飲食店舗とフードコートには、潮風を感じられる開放的なテラス席を設け、海辺の環境ならではの賑わいを演出します。



C ブロック 海沿いのテラス席



C ブロック デザインイメージ

#### ◇小さなお子さま連れにやさしい機能整備

小さなお子さま連れのお客さまに、一層快適にお過ごしいただけるよう無料の「Baby Lounge（ベビーラウンジ）うみのもり」を整備します。0～2 歳児（予定）を対象としたハイハイ・つかまり立ちスペースのほか、レストスペースを用意。海で遊んでいるようなデザインとしながらも、木育をテーマとし地元の神奈川県産材を活用した環境にやさしいエリアに整備します。



Baby Lounge うみのもり

#### 【三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド デザインパートナー紹介】

各分野のエキスパートデザイナーと連携し、滞在機能の強化に向けた環境づくりを実現しました。

##### 施設環境デザイナー



株式会社ランドアートラボ  
代表取締役 長嶋 祐巳 氏（左）  
Chief Director 清水 祐 氏（右）

商業施設デザイナー・コンサルタントとして、多数の施設の設計・企画を手掛ける。当施設には企画設計段階より参画。その他、国内では「HARUMIFLAG 東京 2020 大会選手村」や、中国・台湾などの海外プロジェクトも推進中。

##### ランドスケープデザイナー



株式会社プラットデザイン  
近藤 範和 氏（左）  
三田 武史氏（右）

2008 年にランドスケープデザインオフィスを共同で設立。東京を起点とし、国内外のオフィス、リゾート、公共施設、商業施設など、幅広い分野の空間設計を手掛ける。2018 年「シーパルピア女川」及び「ハマテラス」を含むエリアが「都市景観大賞」を受賞。

##### モール共用部植栽監修

ガレージ オーナー  
二村 昌彦 氏



「植物と暮らす」をテーマに庭や屋内緑化の設計施工を手掛け、店舗からウエディングまでグリーンを使った提案を幅広く行なっている。「名古屋プライムセントラルタワー」「国際バラとガーデニングショウ男子ガーデン」など手掛ける。

##### ベビーラウンジ監修



株式会社 Tree to Green

取締役 小瀬木 隆典 氏



国産木材を使用し地域の特徴・文化を活かした家具・空間などのデザインや施工を行う。ラグジュアリーホテルへの商品納入ほか、幼稚園・保育園などの施設も多数手掛けており、木育活動として、様々なワークショップも開催している。